

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	杉並区立こども発達センター			
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日		～	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	123	(回答者数)	42
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日		～	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	15
○訪問先施設評価実施期間	令和6年9月1日		～	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	73	(回答数)	53
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年1月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員が連携し、多角的な視点から支援を行っている。	お子さんの課題に合わせて専門職員（理学療法士、作業療法士、心理士、言語聴覚士）が支援している。また、お子さんに関わる職員間で発達状況や課題、訪問先施設での様子、対応方法を共有している。	引き続き、こども発達センターでの様子についても施設と共有し連携を図り支援を行う。
2	区内保育園・子供園・幼稚園の4割の施設へ訪問し連携を図っている。	保護者の承諾を得て担当者が定期的に施設へ連絡し、お子さまの様子を確認後、支援の必要性について保護者、施設と話す機会を設け支援につなげている。 併せて、幼稚園、子供園、保育園の各園長会で事業の目的や内容等について情報を発信している。	面談や電話連絡等の中で積極的に保護者や施設からのニーズを受け取る。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問回数増やお子さんの変化に合わせたタイムリーな訪問等の要望があがっており、個々に応じた十分な支援が行われるための効率的、効果的な支援が望まれている。	従事職員は多様な勤務形態であり、訪問事業以外の業務を兼務しており、スケジュール調整が難しいことがある。	訪問開始時に支援目的の他、年間を通した訪問時期や頻度についても保護者、施設と協議・共有を行い、支援の度合いに応じた頻度で訪問できるよう計画的に実施する。
2			
3			

事業所名 杉並区立こども発達センター

公表日 令和7年 4月 3 日

利用児童数 令和6年 9月 1日 回収数 42/123

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	21 (50%)	4 (10%)	0	17 (40%)	保育園での様子は実際には見ていないのでわからない。	支援内容は書面にて分かりやすく伝えてまいります。園生活で馴染みのある教材を中心に園の先生方とご相談、使用させていただいています。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	31 (74%)	4 (10%)	0	7 (16%)		各施設の環境に合わせて、個人情報の取り扱いに十分配慮し実施しております。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	38 (90%)	2 (5%)	0	2 (5%)	一般的なことについては特に説明はなかったと思う。利用者側の利用目的が達成されることが重要。	文書とともに丁寧な説明を心掛け、ご理解いただけるよう努めます。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	37 (88%)	1 (2%)	0	4 (10%)	・頻度の説明は事前に受けたが、訪問日は決定後の共有だった。 ・もう少し回数を増やしてほしい。	目的に応じた頻度や時間について保護者の方と相談し共有します。
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	31 (74%)	4 (10%)	2 (4%)	5 (12%)	本来使える日数分より少ない訪問日数を提示されるので、おそらく人が足りてないと感じる。こどもの状態に応じた支援は提供されているが、無理なくそれが実現できる体制なのかどうか利用者側からはわからない。	頻度や時期等について保護者の方と協議を行い、計画的にお子さまへの支援が実施できるよう努めます。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37 (88%)	3 (7%)	1 (2.5%)	1 (2.5%)		お子さまに関わっている担当者間の連携を密にし、専門的視野から支援を実施します。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37 (88%)	1 (2%)	2 (5%)	4 (5%)	・定期的な個別指導での状況も踏まえ、利用者へのヒアリングにも十分時間をとって計画している認識。	引き続き、保護者の方、訪問先職員からの聴き取りを行い、お子さまの状況を十分に把握し計画を作成します。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	33 (79%)	2 (5%)	1 (3%)	6 (14%)	訪問先施設と担当者が直接やりとりしているので利用者からはよくわからないが、施設でこどもと接する上で役に立っていると感じている声は聞くことがある。 ・意見交換などがされていると思う。	実施にあたり、保護者の方、訪問先施設職員と目的を確認し、実施しています。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36 (86%)	0	0	6 (14%)	保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」が何か思い出せない。	訪問日時やお子さまへの具体的な支援内容等について書面にて保護者の方と共有しています。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38 (90%)	2 (4%)	1 (3%)	1 (3%)		家庭、施設、当センターの3者で訪問の目的、支援内容、方法を共有しています。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	38 (90%)	2 (5%)	0	2 (5%)	訪問先施設と保護者での個人面談などで、保育所等訪問支援がこどもの発達の支援をする上で両者の連携を高めてくれていると評価している。	お子さまの発達状況を踏まえ、各施設の環境や職員体制等状況に合わせた支援内容を中心に伝えできるよう心掛けています。
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	38 (90%)	1 (2%)	1 (3%)	2 (5%)		事業の契約時に文書とともに口頭でご説明しています。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	38 (90%)	1 (2%)	2 (5%)	1 (3%)		文書を提示し、ご説明しております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	30 (71%)	2 (5%)	1 (3%)	9 (21%)		オンライン等を含めたさまざまな形で保護者の方への情報提供ができるよう、工夫します。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	36 (86%)	3 (7%)	0	3 (7%)		個別指導やグループ担当者が連携し、お子さまの健康や発達の支援に努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36 (86%)	3 (7%)	0	3 (7%)	・定期的な個別指導の中で行われている。 ・定期的というよりは保護者から要望すると実施される感じ。	年3回の個別支援計画モニタリング時の機会を含め、必要に応じて個別相談の機会を設定します。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	38 (90%)	1 (2%)	1 (3%)	2 (5%)		保護者の方の気持ちに寄り添いながら、お子さんの発達を支援します。

の 説 明 等	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	36 (86%)	2 (5%)	1 (2%)	3 (7%)	アンケートや個別指導時に相談を書くとともに連絡が来て対応されている。	児童発達支援事業の契約時に、保護者の方への丁寧な説明を継続していきます。また、担当者からお声をかけを積極的に行い、保護者の方の希望に応じられるように努めます。
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36 (86%)	3 (7%)	2 (5%)	1 (2%)		指導時間外の面談や電話での相談、オンライン面談を取り入れ、保護者の方のニーズにお応えします。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	39 (92%)	0	1 (3%)	2 (5%)		訪問前に施設での課題を確認し、訪問時に施設職員と意見交換や検討を行っています。保護者の方へお渡ししている報告書と同一のものを施設へもお渡しして共有しています。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	40 (95%)	1 (2%)	1 (3%)	0	連絡を取り合っていると。思う。	訪問後にカンファレンスを実施し、訪問先施設との話し合いを行っています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	41 (98%)	1 (2%)	0	0	いつも時間をしっかりととり、丁寧に説明されている。	報告書をお渡しするとともに、対面または電話でのご説明を行っています。
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21 (50%)	4 (10%)	2 (4%)	15 (36%)		評価アンケート調査の結果公表は、ホームページで発信を予定しています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	39 (93%)	0	1 (2%)	2 (5%)		個人情報管理研修の実施や個人情報管理手順の確認を行い、安全な取扱いを徹底しています。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	22 (52%)	4 (10%)	3 (7%)	13 (31%)		訪問先施設の対応に準じて行います。
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30 (71%)	2 (5%)	0	10 (24%)		安全に関する計画について丁寧な説明を行い、安心してご利用いただけるよう努めます。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	35 (83%)	2 (5%)	2 (5%)	3 (7%)	・子どもは訪問支援を知りません。	当センターの職員が訪問することでお子さんに影響があると思われる場合は、お子さんの刺激にならないような方法を検討し、実施しております。
	28	事業所の支援に満足していますか。	39 (93%)	2 (5%)	0	1 (2%)	・暖かく支えてもらっている。 ・色々な面の支援をもらっている。センターを軸に各所の体制も整ったとの認識。 ・個別指導で様々な助言を受け取るが、正確に理解し施設の担任等に共有するのは限界がある。発達支援は日々の生活の積み重ねであると考えれば子どもが多く時間を過ごす施設に対し、支援を助言する取組みは意義深い。	訪問支援へのご理解ご協力に感謝いたします。よりよい支援に向け必要に応じて改善を図りながら、引き続き保護者の方、訪問施設と連携を図り、お子さまの発達支援に努めてまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					令和 7 年 4 月 3 日	
杉並区立こども発達センター		利用児童数					令和 6 年 9 月 1 日	回収数 53/73
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	47 (89%)	6 (11%)	0	・ 具体的な声掛けや援助方法を知り、実践に取り組めることができた。 ・ わかりやすいが、取入れやすいかの点については圖の実状や考え方もあり何とも言えない。 ・ 情報伝達が十分でなく、別の者に同じ説明をしないとイケない。	・ 施設の環境や方針を踏まえ、職員の方々と支援についての検討、共有に努めます。 ・ 施設内での情報共有に活用いただけるよう、報告書を具体的にわかりやすく記載します。		
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	48 (91%)	5 (9%)	0	・ 保育士とは違う視点での子どもの姿やアプローチ方法を知ることができた。	引き続き専門性を活かしていただけるよう技術を向上させ、施設職員の皆様と連携を図ってまいります。		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	51 (96%)	2 (4%)	0	・ 具体的に参考になった。 ・ 関係部門と連携を取り課題解決に向け対応していた。 ・ 施設での対応を理解したうえで、助言やこども発達センターでの対応について回答があった。	引き続き、関係職員と密な連携を図りながらお子さまの発達状況を把握し支援に活かします。		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	36 (68%)	15 (28%)	2 (4%)	・ 課題や手立てが明確になったり、職員の気づきに繋がった。 ・ 対応が周知され子どもと関わりやすくなった。 ・ 子どもに合った対応ができていた事を知り、プラスになった。 ・ 子どもの姿は日々変化するため、定期的な訪問等タイムリーに相談できるとよい。 ・ 時間、人手のないことが多かったり、すぐの実践が難しいことがあった。	・ 時期や必要な支援について、保護者、施設と相談し共有します。また、保護者からの聞き取りや施設への電話連絡を活用し、お子さんの状況に合わせた継続的な支援を目指します。 ・ 支援方法については、施設の環境を踏まえた方法の提案に努めます。 ・ ニーズに合わせた実施を目指し、支援員の増員を図ります。		
5	事業所からの支援に満足していますか。	41 (77%)	11 (21%)	1 (2%)	・ わかりやすい説明と助言であった。 ・ センターで行っていることや関わり方を共有でき子どもへの理解が深まった。 ・ 今後も連携を図り、子どもの育ちを支えていけるとよい。 ・ センターでの療育の様子をごまめに共有できると保護者とお話や保育に生かせると思う。 ・ 集団生活や活動に沿うことに重点が置かれた支援方法の提案が多いと感じる。	・ お子さんがより安心感と信頼感を持って所属集団で過ごし、成長できるよう意識しながら、施設と連携を図り支援に努めます。		
その他のご意見								
・ 助言や説明は具体的にわかりやすく丁寧であった。 ・ 回数を増やす等継続的な連携ができるとよい。 ・ 就学に向け、もう少し連携を図れるとよい。 ・ 保護者を含む三者懇談の機会があるとよい。 ・ 事前資料作成に負担がある。 ・ 全体終了時間が食事や午睡の時間にかかり、体制を確保するのが厳しいことがある。 ・ 対象のお子さんが複数いる場合、時期が集中する、また候補日の提示が少なく調整しづらいことがあった。					・ 日程調整については、体制や生活・活動時間の確認、訪問集中への留意等を行い、施設と相談を行います。また、できる限りの候補日をご提示できるよう努めます。 ・ どの時期にどのような支援が必要かを共有できるよう、保護者、施設と相談し計画的な支援を目指します。 ・ 事前資料の依頼については、訪問日時のご相談の際、各施設に確認を行い、必要に応じて方法等について相談します。 ・ 訪問支援へのご理解ご協力に感謝いたします。引き続き保護者、施設と連携を図り、お子さまの発達を支援に努めてまいります。			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
杉並区立こども発達センター		令和7年 4月 3日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	15 (100%)	0	施設内の環境での支援を心がけている。必要に応じてお子さんに合わせた玩具等の紹介を行っている。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	12 (80%)	3 (20%)	訪問支援員は専属ではなく、他業務を兼務しているため、担当できるお子さんの数が限られると感じる。	業務分担の工夫や支援員数増を図り、円滑な事業運営を目指します。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10 (67%)	5 (33%)		年度当初、中間期、年度末に業務について振り返る時間を設け、改善を進めます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15 (100%)	0	モニタリングや面談の機会を通して、ニーズの把握に努めている。	自己評価等を通して保護者の意向を把握し、業務改善につなげます。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13 (87%)	2 (13%)		引き続き、定期的なミーティングで意見交換の機会を持ち、改善につなげます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13 (87%)	2 (13%)		定期的に外部評価を行い、より良い支援につなげます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10 (67%)	5 (33%)		機会を保障できるよう改善を進めます。また訪問支援員に焦点を当てた研修を計画します。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	15 (100%)	0	個別指導担当者との連携が必要。	引き続き、個別指導担当者、グループ担当者、訪問支援員が連携を図り、お子さんの発達や課題を共有し計画を作成します。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12 (80%)	3 (20%)	全職員が十分に理解した上で支援できるよう、改めて伝える必要があると思う。	関わる職員が支援について共通理解を持ち検討できるよう、保育所等訪問支援ガイドラインを共有する機会を設けます。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	14 (93%)	1 (7%)	訪問先施設からの意向を事前に電話連絡等で確認し、共有に努めている。	引き続き、訪問先施設と連携を図り、担任等のお子さんを支援する職員の日々の支援や意向をふまえ、支援計画を作成します。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15 (100%)	0	個別支援計画と共に共有する時間を設け、職員連携を図り支援を行っている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14 (93%)	1 (7%)	標準化された検査を用いている。また訪問施設やこども発達センターでの様子を確認し、アセスメントを行っている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	14 (93%)	1 (7%)		引き続き、お子さん、保護者、訪問施設への支援を行い、お子さんの生活の充実を図るための計画を作成します。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15 (100%)	0	個別指導担当者、グループ担当者等お子さんに関わる職員と事前に目的や支援内容について共有し実施している。	
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14 (93%)	1 (7%)	個別指導担当者、グループ担当者等お子さんと関わる職員間で話し合を行い共有している。	
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	15 (100%)	0	施設の方針や環境を踏まえ、施設内で可能な支援についての検討、共有に努める。	
	17	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	15 (100%)	0	記録を作成し、継続支援の検証改善に活かしている。	
	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15 (100%)	0	訪問前に保護者、訪問先施設へ意向の確認を行っている。また保護者へ年3回のモニタリングでニーズを聞き取り、計画に反映する機会を設けている。	

関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12 (80%)	3 (20%)	必ずしもその限りではない。	担当者が出席できない場合は、お子さんの状況を十分に理解した上で参加できるよう、お子さんの状況や必要な支援等について、療育記録や担当者との事前打ち合わせを行い、共有します。
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15 (100%)	0	必要に応じて、関係機関と連携を図っている。	
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15 (100%)	0	支援計画や報告書の共有を保護者を通じて行っている。	
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9 (60%)	6 (40%)	訪問専門の研修は行っていないように思う。機会はあるのかもしれないが参加していない。	発達支援についての研修や専門家からの助言の機会を設けている。今後は、訪問に焦点を当てた研修等の導入を進めていく。
	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7 (47%)	8 (53%)	機会はあるのかもしれないが参加していない。	地域の課題解決に向けて協議会子ども部会を設置を令和8年度予定している。
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15 (100%)	0	主に個別指導やたんぼぼ園来所時に共有する機会を設けている。	
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13 (87%)	2 (13%)		家族支援の講座等の充実を図ります。
保護者等への説明等	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15 (100%)	0	契約時に書面にて説明を行っている。	
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	15 (100%)	0	新規施設へ事業担当者が訪問し、事業の趣旨、目的、実施内容等を文書とともに説明している。継続実施の場合は、その都度、電話連絡や書面にて訪問支援の目的を伝えている。	
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15 (100%)	0	事前に支援内容への意向を確認した上で作成している。	
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	15 (100%)	0	文書にて同意を得ている。	
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	15 (100%)	0	主に個別指導やたんぼぼ園来所時に機会を設けている。	
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8 (53%)	7 (47%)	機会はあるのかもしれないが参加していない。	グループ指導では交流が図れるよう保護者会を設定しています。
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14 (93%)	1 (7%)		引き続き、相談は随時受け付け、内容に応じて必要な職種と相談できるよう体制づくりを行います。
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10 (67%)	5 (33%)	こども発達センター機関紙を年2回発行し、利用者、区内関係機関へ配布している。また、メール配信にて随時情報発信している。	
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15 (100%)	0	個人情報保護法に沿って対応している。	
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15 (100%)	0	視覚情報を併用する等、理解しやすい方法を取り入れている。日本語以外の母国語でのコミュニケーションが必要な保護者との意思疎通には、通訳の同席やオンラインを利用しています。	
	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	15 (100%)	0	お子さまに関わる職員間の連携、多職種との連携を行っている。	

訪問先施設への説明等	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	14 (93%)	1 (7%)	訪問当日に訪問先施設にカンファレンスの時間をいただき、施設長や担当者と課題についての検討、共有を行っている。 その後、必要に応じて電話連絡等でお子さまの様子や対応方法等の共有を行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	15 (100%)	0	報告書を作成しお渡ししている。書面と合わせて口頭での報告も行っている。	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15 (100%)	0	個人情報保護法に沿って対応している。	
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	14 (93%)	1 (7%)	施設の方針や環境を踏まえた助言を心かけている。	
非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13 (87%)	2 (13%)	各マニュアル作成、緊急時対応訓練実施等、発生時に対応できるよう備えている。	
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14 (93%)	1 (7%)	計画を作成し、毎朝の施設内点検、月1回の避難訓練実施、災害時の訓練実施等安全に対応できるよう備えている。	
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15 (100%)	0	打ち合わせで日々の内容を共有している。また、半期ごとに発生時間や事象の傾向を検証している。	
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15 (100%)	0	全職員を対象に研修を実施し、共通理解を深めて対応している。	
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15 (100%)	0	身体拘束適正化委員会を開催し内容等を確認し決定後個別支援計画に記載している。保護者へ説明のもと共有している。	